



そんな簡単にできるものじゃない！

アグリサイエンスバレー構想について

議員

①アグリサイエンスバレー構想の現在の進捗状況、②28年度アグリサイエンスバレー構想の土地測量費、③今後の見通し、以上について尋ねる。

都市建設部長

①事業街区をACDで進めることについて地権者のご意見を伺った結果、103名のうち99名の事業推進の賛同を得られたものと理解している。②測量費用は国交省の積算基準に沿った公共測量の費用となっている。③今年中に土地交換の合意形成を図る予定である。来年度の都市計画決定と土地区画整理事業の許認可を得ることを目標に進めていきたい。

議員

この構想案は二転三転して、地権者は理解できるわけがない。中には、道の駅をつくるんだとか言っている人がいるようだが、

産業拠点整備課理事

道の駅についても、まだ最終的に決まっているものではない。



議員

6次産業は簡単なものではない。ほかは国から予算をもらってやっている。市の財源や戸田建設だけでやっているわけではない。20ヘクタールの都市計画区域に何を持って来るのか。今の減速した経済情勢の中では簡単ではない。測量についても地権者の同意を得てからやるのが基本である。手順を間違ったら大変である。

市長

これから1軒1軒、地権者の民地に入っていく測量に入るが、そのときには個々の同意を得た中で測量をしていく。

議員

同意をもらってから予算を計上してやっていくというのが私の基本的な考えである。



圏央道 常総インターチェンジ周辺

□ 殿 園 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



二転三転するこの事業に大きな疑問!!

常総市圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業とアグリサイエンスバレー構想について

議員

この事業の開発予定地62ヘクタールのうち白畑地区の地権者が計画から抜けてしまい、予定地は40ヘクタールになってしまった。都市的土地利用エリアの予定地はCD地区↓B地区↓AD地区と二転三転しており、事業の実現可能性に疑問がある。

都市建設部長

白畑地区が抜けるということではなく、水田畑地のまま利用するということである。

市長

地権者の意向を反映させてよりよい計画にしていくわけだから、何ら問題はないと思う。

議員

都合のいいときは40ヘクタールで物事を考え、アグリサイエンスバレー構想と言う。都合が悪くなると白畑の20ヘクタールも加えて62ヘクタールと考え、常総インターチェンジ開発と言う。こういうのは、やり方が汚いと思う。執行部は都合のいいように計画を変更している。戸田建設ですと言って違う会



社の人が地権者を回り歩いているそうだが、それは地権者をだますことにならないか。

産業拠点整備課長

その会社は、戸田建設の再委託先で、問題ないと考えている。

議員

HE社の名刺を持って歩いているYという人は、また別の会社の人であり、再委託先とは言えない。これはどういうことか。

産業拠点整備課長

HE社の社員と認識している。

議員

この事業は平成34年までかかる計画であり、そこまで市が予算計上した5億円に合うのか心配である。市民の大切な税金を一円も無駄にしてはいけない。この事業は一旦休止し、水害被害に遭った人たちの生活を元通りにすることに全力を尽くすべきではないか。常総市の農業全体を考えた特区申請をして、みんなに利益が上がるような政策が私の希望である。